



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月15日

上場取引所 東

上場会社名 MRKホールディングス株式会社

コード番号 9980 URL <https://www.mrkholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 眞二

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員経営企画部長 (氏名) 中 研悟 TEL 06-7655-5000

四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,141	5.6	183	16.4	332	0.7	156	3.6
2021年3月期第2四半期	8,655	△8.6	157	△72.2	330	△49.9	151	△63.2

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 195百万円 (△20.5%) 2021年3月期第2四半期 245百万円 (△40.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	1.54	—
2021年3月期第2四半期	1.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	17,082	13,456	78.8
2021年3月期	18,013	13,363	74.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 13,456百万円 2021年3月期 13,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	6.4	730	19.3	670	1.8	340	179.1	3.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	101,295,071株	2021年3月期	101,295,071株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	230株	2021年3月期	230株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	101,294,841株	2021年3月期2Q	101,294,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、女性の皆様が輝く人生を過ごしていただけるよう“美”に関する多彩なサービスを提供する『美の総合社』の実現に向け、補整下着の販売を中心に、美容コスメや健康関連商品ならびに、マタニティ及びベビー関連商品、婚礼・宴会関連事業ならびに、美容関連事業など、新たな商品・サービスの拡充を推進しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナワクチン接種の普及等、明るい兆しが見えつつあるものの、新型コロナウイルス変異株の流行等に伴う感染拡大により、未だ収束時期は見通せず、依然として先行は不透明な状況が継続しております。

当社グループでは従業員へのPCR検査を定期的実施した他、日々の体温チェックやマスクの着用、除菌や清掃など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、さらにRIZAPグループ各社と連携して、社員及び家族、取引先、お客様を対象とした新型コロナワクチンの職域接種を実施するなど、お客様及び従業員に安心・安全な空間の提供に努めてまいりました。

婦人下着及びその関連事業において、主力の補整下着では限定カラー商品が好評を得たことに加え、オリジナルサプリメントの新規販売及び定期購入が伸長するなど、順調に推移いたしました結果、前年同期に比べ増収増益を達成いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高91億41百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益1億83百万円（前年同期比16.4%増）、経常利益3億32百万円（前年同期比0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億56百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの変更等に関する事項に記載のとおり、報告セグメントを変更し、セグメント情報の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

[婦人下着及びその関連事業]

婦人下着及びその関連事業においては、補整下着の販売及びコスメや健康食品などの美や健康に関連する商品の販売が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による影響が長引く中、新型コロナワクチンの職域接種の実施をはじめ、従業員へのPCR検査を実施した他、日々の体温チェック、マスクの着用及び手指消毒の徹底、店舗設備における除菌や清掃の徹底等、安心・安全な店舗環境の提供に引き続き注力いたしました。

また、商品展開においては、主力の補整下着の限定カラー『Curvaceous premier blue（カーヴィシヤスプレミアムブルー）』を販売し、同商品が好評を得るとともに、健康への意識が高まる中、ドクターが監修するオリジナルサプリメントM.B.M.S（マルコビューティーメイクサプリメント）の新規販売及び定期購入による売上が好調に推移するなど、商品販売が順調に推移いたしました結果、増収増益を達成いたしました。

以上の結果、売上高は81億58百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は3億84百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

[マタニティ及びベビー関連事業]

マタニティ及びベビー関連事業においては、マタニティ及びベビー向けのアパレルや雑貨の販売が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響にともなう出生数の減少など厳しい経営環境のもと推移いたしました。さらに緊急事態宣言が継続的に延長されることにより、店舗への来店者が減少し、店舗売上が落ち込みました。

このような状況のなか、新たに定期的にご購入いただける商品・サービスの開発に取り組むなど、EC強化を推進いたしました。

以上の結果、売上高は6億15百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント損失は67百万円（前年同期は42百万円の損失）となりました。

〔婚礼・宴会関連事業〕

婚礼・宴会関連事業においては、結婚式場の運営やカフェ・レストランなどの飲食事業の運営が主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、緊急事態宣言が長引くなか、挙式や宴会の延期及び縮小が続くなど、厳しい経営環境のもと推移いたしました。

以上の結果、売上高は1億5百万円（前年同期比96.3%増）、セグメント損失は1億17百万円（前年同期は93百万円の損失）となりました。

〔その他〕

その他においては、美容関連事業などが主要事業であります。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、緊急事態宣言が長引き、一部店舗の休業や時短営業を余儀なくされましたが、リピート顧客による底堅さと、美容商材の安定的な販売により、売上は回復基調で推移いたしました。

以上の結果、売上高は2億92百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント損失は16百万円（前年同期は16百万円の損失）となりました。

※各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は114億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億32百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の減少の結果によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は56億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産の増加及び繰延税金資産の減少の結果によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は30億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億95百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少、株主優待引当金の減少の結果によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は5億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは主に、長期リース債務の減少の結果によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は134億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加の結果によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は62億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ、10億23百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は1億86百万円（前年同期は15億21百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億31百万円、棚卸資産の減少1億27百万円等による資金の増加、法人税等の支払額1億49百万円及び株主優待引当金の減少1億32百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は5億77百万円（前年同期は7億7百万円の減少）となりました。これは主に、関係会社貸付金の回収による収入15億円、貸付金の回収による収入5億円、貸付けによる支出13億円、関係会社貸付けによる支出10億円及び有形固定資産の取得による支出1億92百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は6億15百万円（前年同期は11億22百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額4億50百万円及び配当金の支払額1億円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想については、2021年5月14日の「2021年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,279,592	6,255,677
売掛金	2,424,532	2,494,719
商品	1,443,096	1,327,394
原材料及び貯蔵品	262,395	245,877
その他	958,184	1,223,632
貸倒引当金	△58,240	△70,661
流動資産合計	12,309,561	11,476,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,102,456	2,112,028
その他(純額)	1,632,703	1,625,377
有形固定資産合計	3,735,159	3,737,405
無形固定資産		
	432,723	446,529
投資その他の資産		
その他	1,562,898	1,492,625
貸倒引当金	△26,690	△70,237
投資その他の資産合計	1,536,208	1,422,387
固定資産合計	5,704,090	5,606,323
資産合計	18,013,652	17,082,964
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,013,930	1,090,325
短期借入金	650,000	200,000
未払法人税等	209,192	99,802
賞与引当金	225,158	137,830
返品調整引当金	7,000	—
ポイント引当金	144,000	74,000
株主優待引当金	263,200	130,754
資産除去債務	27,749	8,073
その他	1,483,062	1,286,796
流動負債合計	4,023,295	3,027,583
固定負債		
退職給付に係る負債	7,381	5,473
資産除去債務	506,228	503,766
その他	112,840	89,498
固定負債合計	626,450	598,737
負債合計	4,649,745	3,626,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,491,360	6,491,360
資本剰余金	6,473,978	6,473,978
利益剰余金	367,961	428,287
自己株式	△53	△53
株主資本合計	13,333,246	13,393,572
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,382	—
退職給付に係る調整累計額	24,277	63,070
その他の包括利益累計額合計	30,660	63,070
純資産合計	13,363,907	13,456,643
負債純資産合計	18,013,652	17,082,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	8,655,086	9,141,366
売上原価	2,076,346	2,175,774
売上総利益	6,578,739	6,965,591
返品調整引当金戻入額	11,000	—
返品調整引当金繰入額	6,000	—
差引売上総利益	6,583,739	6,965,591
販売費及び一般管理費	6,426,462	6,782,514
営業利益	157,276	183,076
営業外収益		
受取利息	2,016	3,550
受取手数料	69,456	62,702
株主優待引当金戻入額	99,283	79,021
その他	9,461	8,312
営業外収益合計	180,217	153,587
営業外費用		
支払利息	2,626	1,224
為替差損	1,802	—
貸倒引当金繰入額	45	866
租税公課	1,699	1,007
その他	1,101	1,118
営業外費用合計	7,274	4,217
経常利益	330,219	332,447
特別利益		
固定資産売却益	124	—
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	40,701	13,278
特別利益合計	40,826	13,278
特別損失		
固定資産除却損	7,465	4,411
減損損失	291	3,682
新型コロナウイルス感染症による損失	98,030	2,979
その他	6,327	3,212
特別損失合計	112,114	14,286
税金等調整前四半期純利益	258,931	331,439
法人税、住民税及び事業税	59,003	55,208
法人税等調整額	48,873	119,786
法人税等合計	107,877	174,994
四半期純利益	151,053	156,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	151,053	156,445

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	151,053	156,445
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	542	—
退職給付に係る調整額	94,018	38,793
その他の包括利益合計	94,560	38,793
四半期包括利益	245,614	195,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,614	195,238
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	258,931	331,439
減価償却費	199,632	182,555
減損損失	291	3,682
長期前払費用償却額	9,279	10,254
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	43,317	8,845
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,260	△87,328
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△5,000	△7,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	27,000	△70,000
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△159,253	△132,445
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△108,620	△1,907
受取利息	△2,016	△3,550
支払利息	2,626	1,224
助成金収入	△40,701	△13,278
有形固定資産売却損益 (△は益)	△124	—
固定資産除却損	7,465	4,411
賃貸借契約解約損	4,388	266
売上債権の増減額 (△は増加)	1,430,160	△66,968
棚卸資産の増減額 (△は増加)	306,048	127,142
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	131,995	11,558
前払費用の増減額 (△は増加)	7,192	13,823
未収消費税等の増減額 (△は増加)	160,539	20,999
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,588	76,387
未払金の増減額 (△は減少)	△125,001	△76,768
未払費用の増減額 (△は減少)	△76,992	△34,568
前受金の増減額 (△は減少)	△9,469	53,032
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△369,472	△76,938
その他	87,507	50,676
小計	1,761,051	325,544
利息の受取額	2,016	3,033
利息の支払額	△4,570	△786
法人税等の支払額	△275,958	△149,425
助成金の受取額	39,136	7,792
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,521,674	186,158
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社貸付けによる支出	△500,000	△1,000,000
関係会社貸付金の回収による収入	—	1,500,000
貸付けによる支出	—	△1,300,000
貸付金の回収による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△163,919	△192,529
有形固定資産の売却による収入	22,134	—
資産除去債務の履行による支出	△10,701	△25,577
無形固定資産の取得による支出	△45,292	△65,048
差入保証金の差入による支出	△18,160	△14,262
差入保証金の回収による収入	14,730	24,545
その他	△5,862	△5,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△707,071	△577,911

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,300,000	△450,000
長期借入金の返済による支出	△3,121	△1,043
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,992	△27,555
配当金の支払額	△100,775	△100,756
株主優待費用による支出	△42,534	△35,787
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,122,576	△615,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△384	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,936,794	△1,006,895
現金及び現金同等物の期首残高	4,912,831	7,279,592
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△17,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,849,626	6,255,677

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった瑪露珂爾(上海)国際貿易有限公司は、重要性が低下したため、連結の範囲から除外し、非連結子会社としております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ12,812千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は17,343千円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	7,599,183	728,835	47,892	8,375,911	279,174	8,655,086
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	900	12,761	5,957	19,619	6,644	26,263
計	7,600,083	741,596	53,850	8,395,530	285,818	8,681,349
セグメント利益 又は損失(△)	310,223	△42,869	△93,994	173,359	△16,338	157,021

(単位：千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	8,655,086
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△26,263	—
計	△26,263	8,655,086
セグメント利益 又は損失(△)	255	157,276

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、集客支援、シェアリングサービス、美容関連事業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額255千円には、セグメント間取引消去△161千円、減価償却の調整額416千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	婦人下着及び その関連事業	マタニティ 及びベビー 関連事業	婚礼・宴会 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,150,742	609,902	89,392	8,850,038	291,328	9,141,366
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	7,983	5,270	16,321	29,574	920	30,494
計	8,158,725	615,172	105,714	8,879,612	292,248	9,171,860
セグメント利益 又は損失(△)	384,032	△67,853	△117,123	199,055	△16,365	182,689

(単位:千円)

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	9,141,366
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△30,494	—
計	△30,494	9,141,366
セグメント利益 又は損失(△)	387	183,076

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業活動であり、美容関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額387千円には、減価償却の調整額が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第3四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「ブライダル」の名称を「婚礼・宴会関連事業」に変更しております。

また、前第3四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「婚礼・宴会関連事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。

(収益認識に関する会計基準等の適用)

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の婦人下着及びその関連事業の売上高は12,812千円増加、セグメント利益は12,812千円増加しております。